

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/9/30	2020/10/2	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	23,185.12	23,029.90	24,448.07	2018/10/2	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	28,538.44	27,781.70	27,682.81	29,568.57	2020/2/12	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	108.61	105.48	105.29	114.73	2017/11/6	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 米国の大統領選挙を巡り先行き不透明感が意識され、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲174.72円(▲0.75%)、TOPIXが▲25.01ポイント(▲1.53%)となり、米国の大統領選挙を巡り先行き不透明感が意識され、下落しました。業種別(東証33業種)でみると、情報・通信業、精密機器、金属製品の3業種が上昇した一方、空運業、石油・石炭製品、医薬品などの30業種が下落しました。28日は、9月末の配当等の権利付き最終売買日であることなどから、権利取り狙いや機関投資家の配当再投資に絡んだ買いが入るとの期待感などから、上昇して始まりました。29日は、①米国の追加経済対策への期待から前日の欧米株市場が上昇したこと、②配当再投資に伴う買いなどが株価上昇要因となり、配当権利落ち分を考慮すると小幅上昇となりました。30日は、日本時間午前開催された米大統領選の第1回候補者討論会において、富裕層増税などを政策に掲げるバイデン候補が優勢であったとの見方が広がり、大幅に下落しました。1日は、東京証券取引所のシステム障害で全銘柄の取引が停止となりました。週末2日は、日本時間の14時過ぎにトランプ米大統領が新型コロナウイルスに感染したとツイッターで明らかにしたこと、米政治の先行き不透明感が高まり、大幅に続落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	前回
10月5日	Mon	欧州	ユーロ圏小売売上高(前月比)	8月	▲1.3%
		米国	ISM非製造業景況指数	9月	56.9
10月6日	Tue	ドイツ	製造業受注(前月比)	8月	+2.8%
		米国	貿易収支	8月	▲636億ドル
10月7日	Wed	日本	景気一致指数	8月	78.3
		日本	景気先行CI指数	8月	86.7
		ドイツ	鉱工業生産(前月比)	8月	+1.2%
10月8日	Thu	米国	副大統領候補、討論会(ユタ州ソルトレークシティ)		
		日本	日銀 地域経済報告(さくらレポート)公表		
		日本	景気ウォッチャー調査現状	9月	43.9
		日本	景気ウォッチャー調査先行き	9月	42.4
		中国	財新サービス業PMI(購買担当者景気指数)	9月	54.0

決算発表予定 他 国内 決算発表 : 10/7 ウエルシアHD、ファミリーマート 10/8 セブン&アイHD 10/9 安川電機

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 米国政治の先行き不透明感に左右されるも、世界経済や業績の改善期待から底堅く推移～

今週の日本株市場は、米国政治の先行き不透明感に左右されるも、世界経済や業績の改善期待から底堅く推移するとみています。トランプ米大統領が新型コロナウイルスに感染したことを受け、大統領選挙に対する影響を含めた政治的混乱が懸念されることに加え、米追加財政政策を巡り与野党の協議が難航していることなど、米国の政治的不透明感は引き続き株価の下落要因として働くものとみています。また、トランプ米大統領の今後の病状の変化や、7日に予定される米副大統領候補の討論会の結果なども、株価を動かす材料になるとみています。一方、7日以降に発表が見込まれるIMF(国際通貨基金)の世界経済見通しにおいて世界経済の回復基調は維持されているとの見方が示されれば、株価の下支えに働くと考えます。また、国内においては、小売企業などの決算発表で堅調な業績が確認されれば買い安心感につながると考えています。その他の注目材料として、日本では8日の日銀さくらレポート、景気ウォッチャー調査、米国では5日のISM非製造業景況指数、6日の貿易収支、欧州では5日のユーロ圏小売売上高、ドイツでは6日の製造業受注、7日の鉱工業生産、中国では8日の財新サービス業PMIなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。